

健康通信

問合先 市民病院 (☎ 76 - 4131)

医療機器のスペシャリストとして 医療技術の発展に貢献しています

◆臨床工学技士という職種を聞いたことありますか？

臨床工学技士は国家資格を持つ医療技術者で、医学と工学の両面を兼ね備えた医療機器のスペシャリストです。人の生命維持につながる呼吸、循環、代謝等を代行する「生命維持管理装置」の保守・管理・点検や、医師の指示のもとこれらの医療機器の操作を行っています。医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化、複雑多様化する技術に対応する「いのちのエンジニア」としてチーム医療に日々貢献しています。

◆臨床工学技士の業務内容

当院には 21 人の臨床工学技士が臨床工学科に在籍しており、大きく分けて医療機器保守管理業務と臨床技術提供業務を行っています。

◆医療機器保守管理業務とは

生命維持管理装置には人工呼吸器や人工心肺装置、植え込み型心臓デバイス、補助循環装置、血液浄化装置、除細動器、保育器等さまざまあります。その他、薬液注入ポンプや生体情報モニターなどさまざまな医療機器が多数あり、これらをつつでも安全に使用出来るように、保守点検、集中管理を行い医療機器の安全を日々守っています。



▲医療機器保守点検

臨床工学科 土井 麻由美

◆臨床技術提供業務とは

医療機器の安全を守るだけでなく、血液浄化センターでは血液透析に関わる全般を担っており、患者さんが安全な透析を受けられるように、日々業務にあたっています。また、心臓血管外科手術の際に使用する人工心肺装置の操作やコロナ禍で話題となった ECMO などの補助循環の導入や管理にも携わっています。ロボット支援下手術（ダ・ヴィンチ）の準備やサポート、不整脈治療であるアブレーション手術、植え込み型心臓デバイス（ペースメーカーや ICD 等）の植込みや、定期的な外来チェック、デバイスのデータチェック等にも従事しています。多岐に渡る業務の中で医療技術の進歩に伴う我々臨床工学技士の役割は大きいと感じています。

◆その他

医療機器に関する他職種への教育なども積極的に行っており、日々進化する医療機器の技術にも対応し安全性、信頼性を保っています。

◆おわりに

臨床工学技士は、昨今の医療に欠かせない医療機器を安心して安全に使用できるよう、これからも努めていきます。

病院ホームページ▶

